

平成29年度都小社研夏季研究会ワークショップ2

「ノートや作品のまとめ方」



平成29年8月18日（金）

世田谷区立武蔵丘小学校

校長 諸角 哲男

新学習指導要領 社会科の目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な**公民としての資質・能力の基礎**を次のとおり育成することを目指す。

(1) 地域や我が国の国土の地理的環境，現代社会の仕組みや働き，地域や我が国と世界の関係などについて理解するとともに、**「知識・技能」**を身に付けるようにする。

(2) 社会的事象の特色や相互の関連，意味を多角的に考えたり，社会に見られる問題や課題について見極めたりし，**「思考力・判断力・表現力等」**を養う。

(3) 社会的事象について，よりよい社会を考え**主体的に問題解決しようとする態度**を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、地域社会に対する関心や責任感を高め、我が国の特色や文化を自覚し、世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さについての**自覚**などを養う。

どうして「ノートや作品のまとめ」が大切か？

学 年	「技能」に関する目標	「表現力」に関する目標
3 年	・調査活動、地図帳や各種の具体的な資料を通して、必要な情報を調べ まとめる技能 を身に付ける。	（前略）、考えたことや選択・判断したことを 表現する力 を養う。 ※考えたことや選択判断したことを文章で記述したり図表などに表したことを使って説明したりして表現する力を養う。
4 年		
5 年	・地図帳や地球儀、統計などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べ まとめる技能 を身に付ける。	（前略）、考えたことや選択・判断したことを 説明したり 、それらを基に 議論したりする力 を養う。 ※考えたことや選択・判断したことを根拠や理由などを明確にして論理的に説明したり、他者の主張につなげ立場や根拠を明確にして議論したりする力を養う。
6 年	・地図帳や地球儀、統計や年表などの各種の基礎的な資料を通して調べ まとめる技能 を身に付ける。	

第3学年(1)身近な地域や市町村の様子

「技能」 ア (イ)	「表現力」 イ (ア)
地図記号などを使って、調べたことを 白地図などにまとめる技能	文章で記述したり、白地図にまとめたことを 基に説明したり すること

第4学年(3)自然災害から人々を守る活動

「技能」 ア (イ)	「表現力」 イ (ア)
時間の経過に沿って年表などに整理したり関係機関相互の協力関係を 図表などにまとめたりする技能	文章で記述したり、年表や図表などにまとめたことを 基に説明したり話し合ったり すること

第5学年(4)我が国の産業と情報のかかわり

「技能」 ア (イ)	「表現力」 イ (ア) (イ)
情報活用の様子を 図表などにまとめる技能	文章で記述したり、 根拠や理由を明確にして議論したり すること

第6学年(3)グローバル化する世界と日本の役割

「技能」 ア (イ)	「表現力」 イ (ア)
調べたことを 適切にまとめる技能	レポートなどにまとめたり、 根拠や理由を明確にして議論したり すること

「ノート機能」

①練習帳的使い方

②備忘録的使い方

・・・観察メモやインタビューメモ

③整理保存的使い方

・・・書きながら整理・保存(記録)

することで、より明確になる。

④探究的使い方

・・・新しい考えが見えてきたり、

間違いに気づいたりする。

※①②を基礎として、

→ ③④の段階へ発展させていくことが大切

「問題解決的な学習を支えるノート」指導のポイント

- ① 本時のめあてについて解決していく過程（問題解決）が見えるようなページ構成にさせる。（1時間の授業で、見開き1ページでまとめる。）
- ② 本時のめあてに対しての自分の考えや予想を書かせる。
- ③ 文章は箇条書きで短い文章で書かせる。絵や図、グラフなども使って分かりやすく整理させる。
- ④ 話し合いのあとに友達の発言について加筆する時間を設ける。
（ノートをもつての意見交流の場などを積極的に取り入れる）
- ⑤ 分かったことを枠で囲んだり、下線や色分け、矢印でつないだりして、
比較・分類・関連付けをしながら整理させる。
- ⑥ 1時間の最後に、学習のまとめとして「分かったことや考えたこと」「自分の学びの振り返り」を自分の言葉で書かせる。
- ⑦教科書の「学び方コーナー」「ノートの見本」などを参考にノートの書き方のポイントを共通理解する。
- ⑧子供の実態に応じてノートのモデルを示したり、上手な子供のノートのコピーを掲示したりして参考にさせながら全体のレベルアップを図る。
- ⑨教師が子供のノートを集めて、一人一人の学習状況を評価するとともに、次時の指導に生かすようにする。

見開きノートの書き方の例

① (○/○)

本時のめあて

日付と本時のめあて（学習問題・本時の問い等）を書き、枠で囲う。

② 予 想

・ 本時のめあてに対する自分の予想を書く。（友達の予想を聞き、自分になかった予想など、必要なものは追記させる）

③ 資料・調べて分かったこと

・ 配布された資料（黒板に掲示する資料を縮小したもの）を貼る。

・ 資料から読みとったこと、教科書や資料集等を活用して個人で調べたことを、箇条書きで書く。

④ 調べて分かったことをもとに考えたこと

・ 本時のめあてと対比させ、③の記述や友達との交流、話し合い等を経た、考えを書かせる。

※ノートは、鉛筆で書き、大事なところは赤を使う。友達の意見は青を使うなどする。色の使い方については、クラスで共通に決めておくとよい。

⑤ 学習のまとめ

・ 本時のまとめとして「学習して分かったこと考えたこと」に加えて「自己の学び」に対する振り返りを書かせる。自分はどのように学習を進められたか、次の課題は何かということを書かせる。

実際のノート例(5年水産業のさかんな地域)

6/24(めあて)

(木) 西川さんたちはどこでどのよ
うにしてマグロを取っている
のだろうか?

予想

・自分だったら...

<友だちの考え>

重岡 マグロがいる所?
しかけたあみ?

松下 大分はなれた海
ふし井 潮目に行く?(プラニクトン)
探知機?

島田 海流?

<自分の考え>

西川さんたちは 遠く海へ行
って 魚群探知器 を使ってマ
グロをさがしたり、延縄 を使
って魚を取ったり、機械 を使
ったりしている。

P.2 全部

P.1 魚群探知器

こともあります。

(友だちの考え)

阿部 1年半かける
関 魚群探知機 ← 魚をさがす
はえなわっから
松下 遠洋魚業

守安 お金 ← たくさんかかる

(ふり返り)

今日は、日本船がエ勞して
マグロを取っていることが分
かりました。延縄などの技を
使ってエ勞せてマグロを取っ
ていることも分かったし、長
し間、家族とはなれてリョウ
をするのはつらいたろうなど
思いました。でも、長し間、
港にもどらないと、マグロが
ぐさぐさしてしまわないのかなと
思いました。

実際のノート例(4年東京のまちをきずいた人)

東京のまちをきずいた人⑤

1 道路の復興の様子を調べ、後藤氏の気持ちを考える。

大正12年に地震が起き...



明治末期

約76年手前



「区政に古く」水田勇次郎さん
 われわれ、区政復興実行によりさからなければならぬ。われわれの考えなければならぬことは、この事業、なればならぬ事実であります。決して他人の力を借りたり、ひはんをしながらは、いられない。かなる努力をしても、再びかのようならば、おのずからいかにしても、おれわれ、させたくはない。この機会を失して、ある、それをのちにいかにしても、せりしめばならぬのである。

コクノ
 信号が出来た、
 大きな交差点が出来た。
 大通りになった。
 手や自転車
 歩いた
 (修繕か出来た)

白い線も注意するため出来た。→そこを歩いた。

5 反対されてもあきらめなかった後藤氏の気持ち。
 やはり、復興しないと、また同じことが起きてしまう。
 ふるさとを守りたいへは、もちろ人、だれにでもあるが、市民は君にはこれを告げなければならぬ。

まとめの段階の作品づくりのポイント

・ 学習問題の解決を図る **まとめる段階**

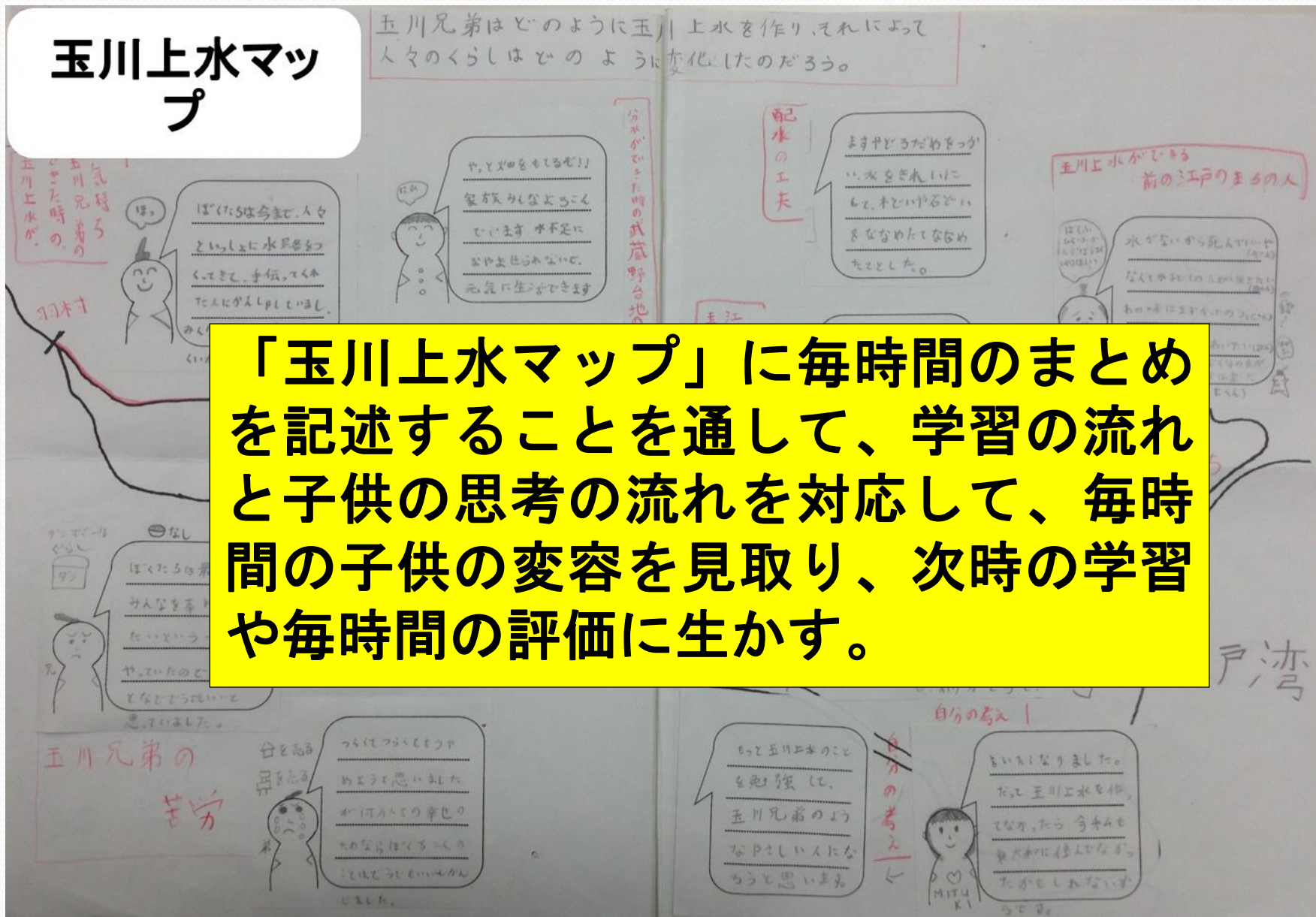
- ① 追究段階で調べ考えまとめてきたノートや作品を振り返り、吟味・修正を加える。
- ② ①をもとに、学習問題に立ち返って、その解決を図るための話し合い活動を行う。
- ③ ②をもとに、自分の考えをノートや作品などにまとめる。

・ これからの社会ことを考えたり、 自分なりの意思決定をしたりする **ふかめる段階**

- ① 稲作農家の工夫について調べたのちに、果物や野菜農家の工夫を考える。
- ② ごみの始末について学習したのちに、**ごみ減量を促すための標語を考え、校内に掲示する。**
- ③ 警察の仕事について学習したのちに、「**安全マップ**」を作成する。
- ④ 家光になったつもりで家康に手紙を書く。
- ⑤ 学習した時代のできごとで、もっとも大きな変化のきっかけとなったことは何かを、**理由を加えながら討論**する。

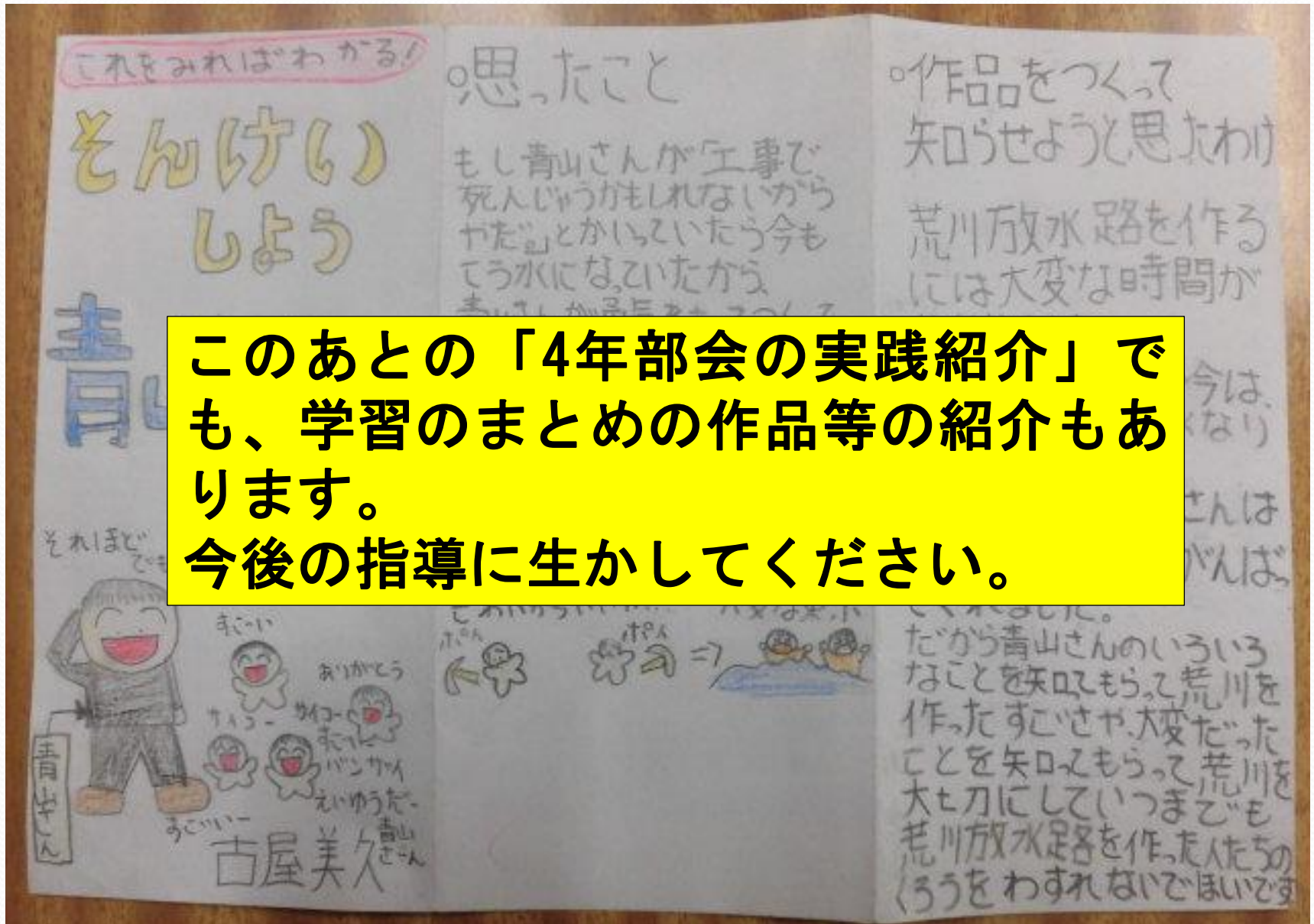
まとめの作品例 4年玉川兄弟と玉川上水

玉川上水マップ



「玉川上水マップ」に毎時間のまとめを記述することを通して、学習の流れと子供の思考の流れを対応して、毎時間の子供の変容を見取り、次時の学習や毎時間の評価に生かす。

まとめの作品例 4年 青山士と荒川放水路



平成29年度都小社ケン夏季研究会ワークショップ2

ありがとうございました



参考文献

小学校学習指導要領解説社会科編

文部科学省 平成29年6月

「ステップ解説 社会科授業の作り方」

澤井陽介・中田正弘 著

東洋館出版社 2014